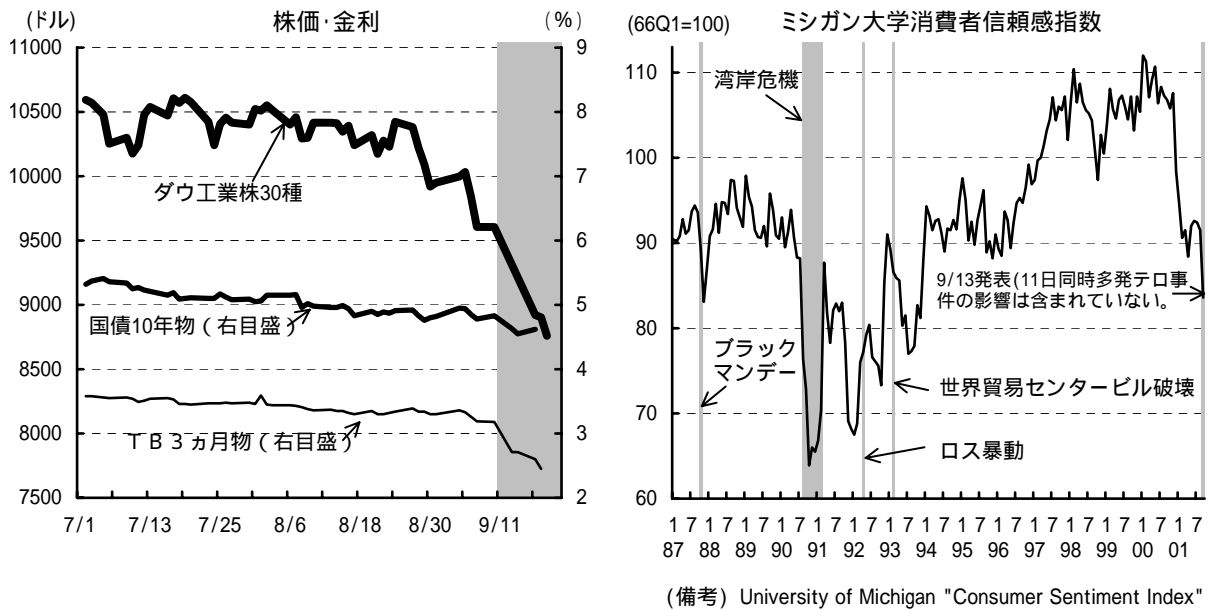


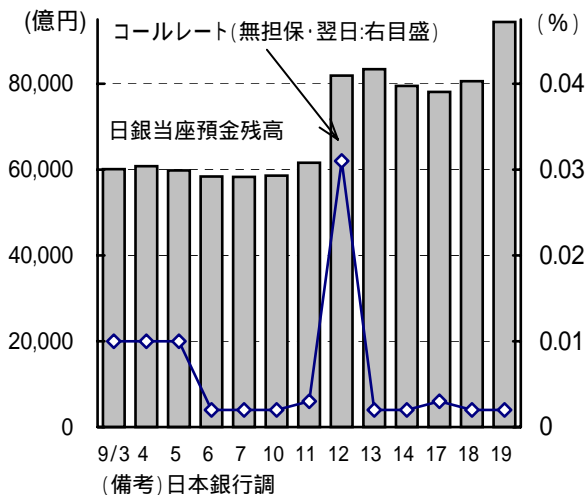
懸念される米国同時多発テロ事件の影響

- 米国の金融市場では9月11日の事件直後、株式から短期を中心とする債券へのシフトがみられた。株式は17日に取引が再開され急落したものの、下落幅は予想された範囲内にとどまった。消費者信頼感指数は事件前の時点で既に低迷しており、今後消費マインドの一層の低下が懸念される。
- 日本の金融市場では、日銀による追加的資金供給などを背景に、短期金利は既に概ね事件前水準にあるが、株価は再びバブル後の最安値を更新し、為替相場は円高方向へ振れた。

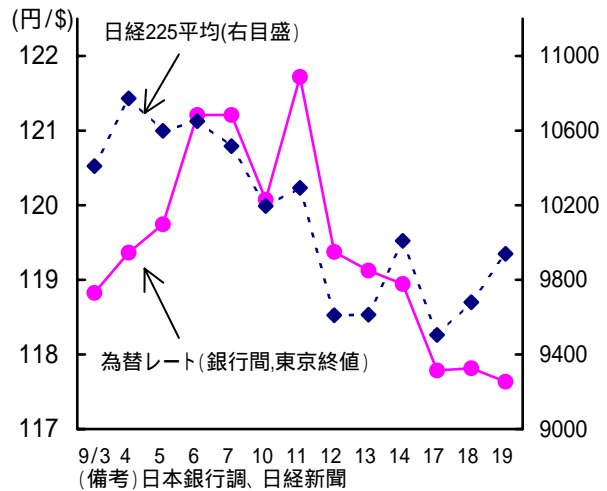
図表1 米国国内経済への影響



図表2 日本の短期金融市場の動き



図表3 日本の株価と為替の動き



[調査部(経済調査担当) 藤井 昭光・品田 直樹]